

経営改善・事業再生・課題解決の支援

● 宮城県よろず支援拠点相談会

中小企業庁委託事業であり、皆さまの経営のお悩みや疑問をワンストップで解決するために、国が設置した無料の経営相談会である「宮城県よろず支援拠点相談会」を当金庫の総合相談センター「絆プラザ」にて開催しております。

● 宮城県事業承継・引継ぎ支援センター

事業承継診断シートを活用して診断を実施し、診断内容から専門家派遣による事業承継支援を行っております。

● 宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点

関係機関・人材市場を活用して人材ニーズのマッチングを図り、その後もフォローアップをしております。人材の選考、獲得に止まらず、副業・兼業人材のマッチング支援も行っています。

● 経営改善・事業再生への支援

中小企業の皆さまの経営支援態勢を整備し、経営改善・事業再生のコンサルティング機能を発揮し、営業店と連携しお客さまの課題解決のお手伝いをしております。

また、中小企業活性化協議会、地域経済活性化支援機構、東日本大震災事業者再生支援機構、信金中央金庫等の外部機関とも連携して、事業再生支援を実施しております。

実施先数（令和8年3月末）

連携先等	先数
宮城県中小企業活性化協議会	20先
地域経済活性化支援機構	1先
みやぎ産業復興機構	35先
東日本大震災事業者再生支援機構	58先
事業再生ファンド(信金中央金庫絆ファンド)	10先
事業再生ファンド(三菱商事復興支援財団基金)	3先

連携先等	先数
創業・育成&成長ファンド(信金中金翼ファンド)	1先
事業再生ファンド(東北共益投資基金)	1先
DDS(借入金の資金的劣後ローン)	2先
宮城県よろず支援拠点相談	111先
宮城県事業承継・引継ぎ支援センター	25先

当金庫では上記のほか、自ら経営改善計画を策定することが困難な方に対しても、経営改善計画書策定支援等を積極的に行い、経営改善のお手伝いを実施しております。

地域の活性化に関する取り組み状況

※地域貢献への取り組みに関するページをご参照ください(P10～P15)。



経営者保証に関するガイドラインの活用状況

ガイドラインの目的

中小企業の経営者による個人保証には、企業の活力を阻害する面があります。経営者保証に関するガイドラインは、そのような経営者保証の課題に対する適切な対応を通じてその弊害を解消し、主たる債務者、保証人及び対象債権者の継続かつ良好な信頼関係を構築・強化するとともに、中小企業金融の円滑化を通じて中小企業の活力が一層引き出され、日本経済の活性化に資することを目的としています。

ガイドラインへの対応

日本商工会議所と全国銀行協会を共同事務局とする「経営者保証に関するガイドライン研究会」では、中小企業（債務者）や経営者（保証人）、金融機関（債権者）の自主的なルールとして「経営者保証に関するガイドライン」を策定しました。

当金庫も「経営者保証に関するガイドライン対応マニュアル」を策定し、当金庫と中小企業の経営者の皆さまとの間で、新たに保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しや保証債務の整理をする場合等に、このガイドラインを適用して運用しております。

ガイドラインへの取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」「廃業時における『経営者保証に関するガイドライン』の基本的な考え方」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務の整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

	令和7年度
新規に無保証で融資した件数	359件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	38.53%
保証契約を解除した件数	17件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

経営者保証に関する取組方針

石巻信用金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下「ガイドライン」といいます。）の趣旨や内容を踏まえ、ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させていくために、以下のとおり取り組みます。

- ◎ お客さまが融資等のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
- ◎ 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
- ◎ 経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
- ◎ お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
- ◎ 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
- ◎ お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

地域貢献への取り組み

【 地域経済、地域社会の持続的発展を目指して 】

日本カーシェアリング協会による「カーシェアリング」活動への協力

日本カーシェアリング協会は、東日本大震災により被災した地域の復興のために石巻で設立した非営利組織であり、寄付車を活用した共助の社会づくりを目指して活動しています。当金庫は、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に向けた当協会の活動に対して継続的に協力しております。

令和7年度は、コミュニティカーシェアリングのスポンサーとして、石巻市の「のぞみ野カーシェア会」、登米市の「松の実フレンド」に協賛するとともに、当協会が7月に設けた「クルマ寄付パートナー」制度に登録いたしました。



子ども食堂23施設へお米 計1トンを寄贈

地域貢献活動とSDGsの取り組みの一環として、令和7年12月10日(水)に石巻圏域子ども食堂連絡会議に新米計1トンを寄贈いたしました。寄贈した新米は、石巻圏域子ども食堂連絡会議を通じて、石巻圏域の子ども食堂23施設に配布されました。



いしのまき圏域SDGsパートナーへの参加



当金庫は、SDGsの推進に賛同する企業等と石巻市、東松島市および女川町が連携し、SDGsの普及啓発や達成に向けた取り組みを推進するための制度「いしのまき圏域SDGsパートナー制度」に登録しております。

石巻市は「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定されており、当金庫も地元金融機関として「地域経済の活性化への取り組み」、「地域社会への取り組み」、「地域環境への取り組み」など、現在も、そして子供や孫の世代も、豊かな暮らしができ、発展していけるような社会を実現するため尽力してまいります。

【産・学・官・金の連携】

販路拡大支援事業

全国のビジネスフェア・商談会への出展サポートや物産イベントへの企業紹介、ビジネスマッチングの仲介など、様々な販路拡大支援を行っております。

第20回 ビジネスマッチ東北2025

令和7年11月13日(木)、第20回目の節目を迎えた「ビジネスマッチ東北」が夢メッセみやぎで開催されました。ビジネスチャンス創出のプラットフォームの場として出展数420ブース、504の企業・団体が出展、総来場者数は6,378名と東北最大級のビジネスフェアとなりました。



城南信用金庫 2025 “よい仕事おこし” フェア

令和7年11月26日(水)、27日(木)の2日間にわたり、東京ビッグサイトで開催されました。北は北海道、南は沖縄県まで、全国各地の信用金庫が協賛し、出展数478ブース、505の企業・団体が出展しました。総来場数は2万人を超える大規模なビジネスフェアとなりました。



東京東信用金庫 ひがしんビジネスフェア2025

令和7年11月21日(金)、両国国技館で開催されました。広域連携による新たなビジネスチャンスの創出を目指す本フェアは、今回25回目を迎え、出展数167ブース、156の企業・団体が出展しました。



石巻専修大学との連携事業

令和6年度IS研究発表会・令和7年度IS奨学金贈呈

当金庫では、平成7年より「石巻専修大学IS奨学金」として研究費を贈呈しており、令和7年12月9日(火)に令和6年度IS研究発表会と令和7年度IS奨学金の贈呈式を行いました。研究内容は地域産業に関連したものなど、大変興味深い内容となっております。

研究発表内容

- 石巻地域における「地域同期」形成に向けた取り組み
- 石巻市の震災伝承施設を対象とした来訪者の特徴把握を目的とした実証調査
- 英語による石巻地域の情報発信と教育方法に関する予備調査

産学金連携による地域産品のブランド化への取り組み

産学金連携における地域貢献および学生の教育・育成を目的として、石巻専修大学 経営学部の李教授が進める教育・研究プロジェクトに、昨年度に引き続き2回目の寄付を行いました。当プロジェクトは、学生を中心とした産学金連携により、地元産品のブランド化などに継続的に取り組んでおります。

<IS奨学金の贈呈>



<教育・研究資金の贈呈>



【 地域を担う人材育成への取り組み 】

「しんきんマネースクール」実施

子供たちに「金融機関」と「お金の大切さ」を知ってもらい、教育を通じて地域社会へ貢献することを目的として、地域の学生向けにマネースクールを開催しております。令和7年度は、7月10日(木)に石巻市立貞山小学校の5年生児童22名を対象に「しんきんマネースクール」を開催いたしました。



「子供たちによる絵画展覧会」実施

子供たちによる絵画展覧会は、子供たちの自由な発想を最大限尊重し、子供たちが絵を描くことを楽しみ、心豊かでたくましく成長することを願い毎年開催しております。令和7年度は、「石巻ひまわりこども園(石巻市住吉町)」「乳幼児保育園ミルク(石巻市のぞみ野)」にご協力いただき、6月11日～8月8日の約2か月間にわたり、107名の絵画を展示いたしました。夏らしい海やかき氷、さらには家族やキャラクターをテーマに個性豊かな作品が並びました。



「石巻しんきん経営塾」の活動

経営者の自主的かつ自由な交流を通じ、経営や技術開発等の情報・意見交換会を行うことを目的に、平成19年3月に設立。企業視察、講演会、勉強会等、意欲的に活動しております。

総 会

令和7年度第1回目の事業として、5月29日(木)に「総会・講演会・懇親会」を開催いたしました。総会終了後の講演会では、宮城県事業承継・引継ぎ支援センターより講師をお招きし、「事業承継への備えとその選択肢について」をテーマに、事業承継に係る事例や悩み事、備えや選択肢についてご講演いただきました。



しんきん企業家交流会2025 in 石巻

令和7年10月21日(火)に信用金庫の顧客組織の運営において連携している石巻しんきん経営塾(石巻信用金庫)、花巻夢・企業家塾(花巻信用金庫)、山形しんきんNEWマネジメントクラブ(山形信用金庫)の合同による企業家交流会を開催いたしました。本年度の交流会は、地元石巻での開催となり、震災遺構門脇小学校および塾生事業所(いしのまきMANGA lab. ヒトコマ)の視察、石巻専修大学経営学部 李教授による講演会を実施いたしました。最後は石巻、花巻、山形の企業家および3信用金庫の役職員を交えた懇親会を開催し、地域と業種の垣根を越えた盛大な交流会となりました。



新春交流会

令和8年2月26日(木)に新春交流会を開催いたしました。第1部の講演会では、信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席主任研究員の角田匠氏を講師に迎え、日本銀行による政策金利の動向や高市政権による経済政策、また、2026年の景気見通しなどについて解説いただきました。講演会終了後の第2部は、講師を囲んでの懇親会を開催し、交流を深めました。

